



まちづくりネットワーク育成事業  
旭区地域史づくりワークショップ  
平成18年9月～平成22年3月

# 旭の今昔 旭区の今昔を知る会

この写真は、旭区の地域史を4年という歳月をかけて区民のみなさんがまとめあげた、1つの歴史を並べています。活動内容については後述しますが、これらの写真から「旭区の今昔を知る会」の情熱を感じていただければと思います。

## 地域史の活動について

大阪市では、市政改革・区政改革が進む中で、これまで以上に区民の皆様による主体的なまちづくりが求められています。旭区においては、これまでも区民の皆様には様々な活動に参画を促すため、従来からお住まいの方とともに、子どもを含めた若い世代や、転入されてきた皆様も対象としてまちづくりの人材の育成、確保を目指してきました。

そうした取り組みの一環として、平成18年度から

平成21年度まで区民の皆様が主体となって地域史づくりを行い、その作成を通じた人材の育成、ネットワークづくりに取り組んできました。

平成18年度は大宮・古市地域、平成19年度は中宮・太子橋地域、平成20年度は清水・新森・高殿南地域、平成21年度は高殿・生江・城北地域を対象として、まちの歴史を後世に伝える地域史づくりに取り組んできました。

背景地図■明治20年(1887)の旭区周辺  
資料提供：大阪市史編纂所



### 地域史の作成にあたって

この地域史は、区民の皆さんが資料調査や取材、企画会議などを行い作り上げた10地域の地域史を再編集し1冊にまとめたもので、歴史的な史実だけではなく、他の文献には載っていない皆さんの心の中にしまっておられる思い出なども多数取り上げています。

これまで地域の歴史を研究されていて大変知識のある方から、旭区にずっと住んでおられるが地域の歴史をあまりご存じでない方まで、「地域史をつくる」という目標に向かって一丸となり取り組み、数年の歳月をかけてようやく1冊の地域史としてまとめることができました。

この地域史を多くの方々に興味を持っていただき、地域のコミュニケーションを高めるツールや学校の教材など、様々な場面で活用されていくことが期待されます。

この地域史の作成に取り組んだメンバーの名称を「旭区いまむかしの今昔を知る会」として、現在もまち歩きや講座など、地域史を通じた活動に励んでいます。

